

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

南相馬市教育委員会

- 1 実施日 令和6年 4月18日 (木)
- 2 調査対象 市内小学校 第6学年全児童 (11校 275名)  
市内中学校 第3学年全生徒 (6校 321名)

## 3 調査内容

### (1) 教科に関する調査 (国語、算数・数学)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※ 上記①と②を一体的に問う。

### (2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

## 4 調査結果

### (1) 教科に関する調査

#### ① 小学6年生の平均正答率(%) (平均正答数/設問数)

	国語	算数
南相馬市	65 (9.1/14)	57 (9.1/16)
福島県	66 (9.3/14)	60 (9.5/16)
全国	67.7 (9.5/14)	63.4 (10.1/16)

#### ② 中学3年生の平均正答率(%) (平均正答数/設問数)

	国語	数学
南相馬市	54 (8.1/15)	42 (6.7/16)
福島県	57 (8.6/15)	48 (7.7/16)
全国	58.1 (8.7/15)	52.5 (8.4/16)

※ 平均正答率とは、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率です。

※ 国の公表方針及び提供資料に基づき、県と本市の数値については整数値による公表となります。

#### ③ 調査結果の概要

小学校は、国語、算数ともに、全国平均正答率を下回りました。

中学校は、国語、数学ともに、全国平均正答率を下回りました。

#### ④ 教科に関する調査結果から見える成果と課題

##### 【 成果 】

- (ア) 本年度の小学校調査において、国語・算数ともに全国平均正答率を大きく上回る学校や、教科によっては全国平均正答率を上回る学校もありました。
- (イ) 小学校調査の国語における知識及び技能の正答率が、全国平均を上回りました。文章から要点をまとめる力が向上しています。漢字の書き取りについても全国平均を上回りました。本市中学校調査の国語では、昨年より全国正答率との差が縮まりました。
- (ウ) 小学校調査の国語・算数における全問正解者の割合が全国平均とほぼ同程度でした。

##### 【 課題 】

- (ア) 小学校算数、中学校数学の正答数の分布を全国値と比較すると、上位層が少なく、中位から下位にかけての層に厚みが見られました。
- (イ) 中学校国語の「書くこと」及び「読むこと」の正答率が低く、無解答率も高くなる傾向が見られました。文章を比較して表現の効果を考えたり、根拠を明確にして書いたりすることに課題が見られます。
- (ウ) 中学校数学の全ての領域の正答率が、全国値と比較して低く、特に「図形」「データの活用」の領域では、表をもとに考えたり、言葉で説明したりすることに課題が見られます。
- (エ) 小・中学校ともに、基本的な問題を取りこぼす傾向にあり、基礎・基本の定着が課題です。設問の意図を的確に捉え、教科の見方・考え方をふまえて問題を解決する力の育成が必要です。

#### ⑤ 今後の取り組み

- (ア) 学習支援員や学力向上教員などと連携しながら、下・中位にかけての層への手厚い支援を充実させるとともに、上位層への学習活動を工夫するなどして、個々の習熟度に合わせて力を伸ばせるように指導してまいります。
- (イ) 小学校の算数科、中学校の数学科の授業を中心に、表やグラフから読み取れることや事象の意味などを、言葉で理解し、説明することができるように指導してまいります。
- (ウ) 個々のつまづきを分析して個別最適な指導にあたりるとともに、子どもたちが主体性を持ち、対話を通して協働的に考えを深め、学んだことをつかう授業を行います。
- (エ) 学習内容の定着に向けて、授業におけるまとめ、振り返りの時間の確保をするとともに、家庭との連携による学んだことが残る学習習慣の定着に努めます。

(2) 児童・生徒質問紙調査

【選択肢】 ※ 4段階評価のなか、原則A評価児童生徒を抽出した数値

- A：当てはまる
- B：どちらかといえば当てはまる
- C：どちらかといえば当てはまらない
- D：当てはまらない

① 生活習慣・日常生活等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	<p>○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 【46.6% 全国比+6.9%】</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 【59.1% 全国比+3.0%】</p> <p>○ 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。 【47.3% 全国比+12.8%】</p>	<p>○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 【43.4% 全国比+8.5%】</p> <p>○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 【66.5% 全国比+11.2%】</p> <p>○ 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。 【39.2% 全国比+10.8%】</p>
課題	<p>● 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。 【3時間以上 32.3% 全国比+2.5%】</p> <p>● 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） 【3時間以上 22.2% 全国比+1.5%】</p> <p>● 学校の授業以外に普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（塾での学習を含む） 【2時間以上 17.6% 全国比-5.9%】</p> <p>● 土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（塾での学習を含む） 【3時間以上 3.6% 全国比-8.0%】</p>	<p>● 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。 【3時間以上 29.1% 全国比+0.1%】</p> <p>● 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） 【3時間以上 30.4% 全国比+2.1%】</p> <p>● 学校の授業以外に普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（塾での学習を含む） 【2時間以上 32.6% 全国比+0.9%】</p> <p>● 土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（塾での学習を含む） 【3時間以上 18.1% 全国比+2.6%】</p>

② 情意面・人間関係等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	<p>○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【53.4% 全国比+4.6%】</p> <p>○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【48.7% 全国比+2.7%】</p> <p>○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 【82.4% 全国比+2.9%】</p>	<p>○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【47.2% 全国比+3.0%】</p> <p>○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【50.3% 全国比+12.0%】</p> <p>○ 将来の夢を持っていますか。 【40.5% 全国比+4.4%】</p>
課題	<p>● 自分には、よいところがあると思いますか。【35.1% 全国比-8.3%】</p> <p>● 将来の夢や目標を持っていますか。 【54.5% 全国比-6.1%】</p>	<p>● 自分には、よいところがあると思いますか。【35.1% 全国比-5.3%】</p> <p>● 友達関係に満足していますか。 【53.8% 全国比-1.2%】</p>

③ 学習面・授業等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	<p>○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 【38.0% 全国比+7.7%】</p> <p>○ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。 【42.3% 全国比+10.2%】</p> <p>○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【67.0% 全国比+5.2%】</p> <p>○ 理科の勉強は好きですか。 【51.3% 全国比+3.2%】</p> <p>○ 先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 【41.2% 全国比+10.8%】</p>	<p>○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【57.6% 全国比+5.3%】</p> <p>○ 数学の勉強は好きですか。 【31.3% 全国比+1.9%】</p> <p>○ 数学の授業の内容は、よく分かりますか。 【38.3% 全国比+3.2%】</p> <p>○ 数学の問題の解き方が分からないときは、別の解き方を考えようとしていますか。 【24.4% 全国比+5.5%】</p> <p>○ 理科の勉強は好きですか。 【33.9% 全国比+0.6%】</p>
課題	<p>● 国語の授業内容はよく分かりますか。 【38.0% 全国比-1.2%】</p> <p>● 算数の授業内容はよく分かりますか。 【40.5% 全国比-4.4%】</p>	<p>● 国語の勉強は好きですか。 【19.8% 全国比-3.8%】</p> <p>● 国語の授業で話を聞いたり、文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか。 【23.1% 全国比-2.9%】</p>

#### ④ 今後の取り組み

- (ア) 規則正しい生活習慣が身についている児童・生徒の割合が高いです。また、学んだことを生かして健康に気を付けようとする児童・生徒の割合も高いですので、継続して取り組めるようにしてまいります。
- (イ) 平日、1日当たりのゲーム、SNS・動画視聴をする時間を合わせると3時間以上の子どもたちが約50%以上というアンケート結果が出ています。国のデータでは、ゲームをする時間が短いほど教科の正答率が高い傾向にあります。平日のゲーム・SNS等の時間を1時間程度にし、宿題等を行う時間の確保を各家庭に周知してまいります。
- (ウ) 南相馬市としましては、小学校低学年30分、中学年60分、高学年90分、中学生は学年+1時間の家庭学習の時間を推奨していますが、これと比較して、小中学校ともに、学校の授業以外で学習する時間が短いというアンケート結果が出ています。授業以外で学習する時間が長いと正答率も高くなるというデータが国から出されています。家庭での学習の質と量を高めることが学力向上に大切であると考えていますので、子どもたちが、継続して家庭学習ができるようにしてまいります。
- (エ) 教科に関する調査結果と相反する意識調査の結果もあることから、わかったつもりでいる授業から、個別最適化の授業を行い、実際にできた、わかった、学んだことをつかえたという実感させるとともに、学んだことを定着できるようにしてまいります。
- (オ) 「先生はよいところを認めてくれる」との高評価もありますので、「ほめる」に加えて、できた、わかった、がんばったなど、達成感を実感できる授業、また、豊かな体験を通して、自己肯定感・自己有用感を高めることができるようにしてまいります。また、協働的な学びを通して、友達同士で認める場を増やし、子どもたちの「やる気」を育ててまいります。

# 令和6年度 南相馬市学力向上への取り組み

## 1 教員一人一人の授業力の向上

本市では、平成28年度より「南相馬市授業改善プラン」を作成し、各校の研修体制や教員の授業改善に取り組んでいます。本プランは、学力向上に向けての「9つの課題」を設定し、課題解決及びよりよい授業づくりのための指標として活用しています。

本年度は、「学んだことをつかう授業」を重点テーマに掲げ、知っていることや学んだこと、身につけた技や力を活用する授業づくりに取り組んでいます。4つのポイント（課題提示・学び合い・まとめ・ふり返り）を意識し、子どもが主役の授業を、本市教職員が一丸となって構想していきます。

## 2 校外・校内研修の充実

### (1) 公開モデル授業研究会

- ・ 学校教育指導委員による授業改善プランに基づいたモデル授業の公開及び事後研究協議会

### (2) 授業スタイル研修会

- ・ 事前の指導案検討会における授業スタイルの周知及び代表授業の参観、事後研究協議会

### (3) 教育先進地視察研修

- ・ 秋田県由利本荘市立小中学校への視察訪問研修

## 3 各校の調査結果・学力向上の取組み

各校の調査結果については、各校のホームページで公開しておりますのでご覧ください。

# 保護者・地域の皆様へ

児童・生徒の学習環境や生活環境づくりについて、家庭や地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

## 1 お子さんへの声かけについて

- ・ お子さんの良さを見取り、積極的にほめたり励ましたりすること。

## 2 SNS等について

- ・ SNSやテレビ、ゲーム等に触れる時間を自分で調整できるよう話し合い、計画を立てたりふり返ったりすること。

## 3 家庭学習の習慣化について

- ・ 家庭学習の時間やメディア（テレビ・ゲーム等）に触れる時間を自分で調整できるよう話し合い、計画を立てたりふり返ったりすること。
- ・ 「ふくしまの家庭学習スタンダード」や「各校の家庭学習の手引き」等をもとに、自分で計画的に取り組むことができるようにすること。

## 4 読書時間の確保や新聞の活用について

- ・ 親子読書の時間をつくったり、市立図書館等を活用したりして、多くの図書に触れることができるようにすること。
- ・ 新聞やニュースの教育的な情報を、親子の話題にすること。

## 5 地域の方々や社会との関わりについて

- ・ 地域行事等への参加を通して地域や社会と関わる経験を増やし、地域の良さや人々のつながりの大切さを学ばせたり、将来の生き方や未来の在り方などについて考えさせたりすること。
- ・ 地域の子どもの積極的に声をかけ、家庭や地域が一丸となって子どもの成長を見守ること。